

給食週間特別号

# 給食だより



令和7年1月17日  
小千谷市立千田小学校

## 1月20日～24日は学校給食週間です

明治22年に始まった学校給食は、戦争により一時中断されました。戦後、アメリカの民間団体ララなどからの援助を受けて、給食が再開されました。昭和21年12月24日にララからの物資贈呈式が行われたので、その日を「給食感謝の日」と決めました。その後、給食の意義や役割についての理解や関心を深める週間として、冬休みに重ならない1月24日から30日を「全国学校給食週間」としています。今年度、千田小学校では、20日から24日を「給食週間」としています。

### 今年度の小千谷市給食週間テーマは

祝 市制施行70周年

知ろう! 食べよう! うんめえ～おぢやの宝



小千谷市が誕生して、70年になります。70年の節目に、小千谷のステキなところをもっともっと知って欲しいという思いから、今年の給食週間では、小千谷の「お宝」を給食で紹介します。

#### 四尺玉花火

片貝まつりで打ち上げられる「四尺玉花火」は、世界最大級です。打ち上げ前に、奉納者の名前とメッセージが読み上げられることが特徴的です。



#### 鉄工業

小千谷市には鉄工分野で高い技術力をもつ企業が多くあります。その技術力に国内だけでなく世界からも注目されています。



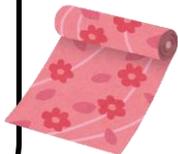
#### 錦鯉

小千谷市は、「錦鯉発祥の地」です。「泳ぐ宝石」として海外からも人気を集めています。「紅白」「大正三色」「昭和三色」は、錦鯉御三家といわれています。



#### 小千谷縮

小千谷には約1,200年前から麻織物の文化が受け継がれてきました。国の重要無形文化財とユネスコ無形文化遺産に登録されています。



#### コシヒカリ

小千谷市は、日本一美味しいお米「魚沼産コシヒカリ」の産地です。独特の甘みと粘りのある食感は、小千谷が誇る食の宝です。

20日(月)

おぢやのお宝 ☆ 四尺玉花火



花火舟・花火汁・四尺玉マフィン・牛乳

小千谷市の片貝では、毎年9月の片貝まつりで世界一大きな「四尺玉花火」の打ち上げが行われています。その花火の製造と打ち上げを行う花火師さんの間で食べられているのが「花火舟」です。スタミナたっぷりの生妻焼き定食を舟ぶりにすることで、忙しい仕事の合間でもさっと食べることができるようにと考えられたメニューです。花火汁と四尺玉マフィンは、夜空に花火が開いて輝く様子を表現しました。



21日(火)

おぢやのお宝 ☆ 小千谷縮

おぢやチヂミ・雪さらし和え

布のりのみそ汁・牛乳

「おぢやチヂミ」は、小千谷縮にちなんで考えた、小千谷オリジナルの「チヂミ」です。小千谷産の新鮮な小松菜や雪の下で甘くなった雪下人參を入れて作りました。「雪さらし和え」は、小千谷縮の反物を雪にさらす「雪さらし」の光景をイメージした和え物です。また、小千谷のそばを作るときの繋ぎとして使われる「布のり」は、織物の糊付けにも使われているようです。



22日(水)

おぢやのお宝 ☆ コシヒカリ



セルフおにぎり・鮭の甘酒みそ焼き

切干大根とツナサラダ・のっぺ

小千谷市の学校給食のお米は、小千谷でとれた「魚沼産コシヒカリ」100%です。そのおいしいお米をのりで巻く「セルフおにぎり」にしています。のりの袋は、小千谷市市制70周年デザインです。「鮭の甘酒みそ焼き」は、鮭を小千谷市の山崎醸造さんの甘酒とみそに漬けて焼きます。甘酒を使うことで、うま味とコクがでてふっくらします。「のっぺ」は新潟県の代表的な郷土料理です。



23日(木)

おぢやのお宝 ☆ 錦鯉



錦鯉トースト・柿の種のシーザーサラダ・冬野菜のポトフ・牛乳

泳ぐ宝石とも呼ばれる「錦鯉」の色に注目して表現したのが「錦鯉トースト」です。いちごジャムの赤とマーガリンの白で錦鯉を表しました。また、シーザーサラダには、小千谷市の阿部幸製菓でつくられた「柿の種」をクルトンの代わりに使って小千谷市らしさを表わしました。「柿の種」のかりかりとした食感を楽しみながら食べて欲しいです。



24日(金)

おぢやのお宝 ☆ 鉄工業



ごはん・レバーの鉄工揚げ・ひじきと水菜の鉄人サラダ・卵スープ

小千谷市を代表するものに「錦鯉」「そば」「織物」がありますが、「金属加工」といわれる「鉄工業」も高い技術力があり、国内外から評価されています。給食でも小千谷市で盛んな鉄工業を紹介したいと、鉄分が豊富な献立を考えました。「鉄分の宝庫」といわれる豚のレバーを使用した「レバーの鉄工揚げ」は、黒すりごまを鉄粉に見立てて仕上げました。「ひじきと水菜の鉄人サラダ」は、鉄分豊富なひじきと水菜を使用し、鉄人のようなじょうぶな体をつくるサラダです。